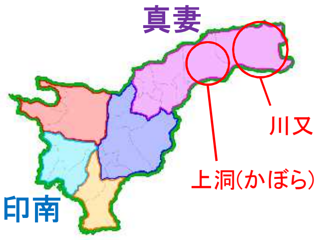
きいちゃんの
いきいき支え合い通信

この通信では、地域の「顔が見える」関係の中で、日常生活の困りごとを助け合い、支え合う活動が進むことを願い、生活支援に関する県内の先進事例等を発信していきます。

第３号
令和３年９月
和歌山県
長寿社会課

支え合い事例紹介　印南町「奥真妻活々倶楽部」

奥真妻活々倶楽部のみなさま　　太田さん



印南町の真妻地区では平成２６年から「奥真妻活々倶楽部」を立ち上げ、地域の方々の生活での困りごとを支援する有償ボランティアサービスを行っています。
今回、取組の中心となっている太田さん、レジ係の小江さんと久保さんにお話をお伺いしました！

立ち上げた経緯は？
当時、真妻地区に１店舗だけあった売店が閉店しました。真妻地区は山間部に位置するため、買い物をしようとすると印南地区まで行かなければならないこととなり、地域の方々の買い物が困難となりました。そこで立ち上がったのが当時民生委員だった太田さんです。太田さんが中心となり、そこに地域の方々が集まって協力することで、見事に真妻地区に売店が復活することとなりました。これが奥真妻活々倶楽部の活動のきっかけです。

取り組み内容は？
現在は売店の運営だけでなく、草刈り、庭木の伐採、灯油の配達、電球の取り換えといった「生活での困りごと」のお手伝いもしています。
また、一人暮らしの高齢者の方を気にかけて時には訪問するなど、見守り活動もされています。

ココがすごい！

地域で売店を運営！地域支え合いの中心になっています
取組の中心となっているのは売店。真妻地区の上洞(かぼら)地区にあり、食料品や日用品などを中心に販売するなど、日々の買い物の場所として役立っています。
今回取材している最中にも地域の方が買い物に訪れ、レジ係の久保さんとお話をすることで、売店としての役割以外も担っていることがよくわかりました！

詳しくは次ページ

昔からの活動が実は大事なつながり！

印南町は「生活支援専門アドバイザー派遣事業」を活用し、CLCの池田先生からアドバイスを受けました。

印南町にたくさんあるお地蔵さん
印南町には切目川沿いにたくさんのお地蔵さんが点在しています。池田先生はこのお地蔵さんがとても綺麗に管理されていることに着目。綺麗なお地蔵さんがある背景には、昔からそれを交代で管理している住民の方々がいるはずです。その活動は自然と続けているサロン活動であり、掃除後のおしゃべりは協議体。そうしたつながりが参加者同士の気にかけ合いや支え合いにつながっているんですよと助言されました。

実際、お地蔵さんは地域の方々が交代で掃除されたり、「餅まき」が行われたりしています。先生からお墨付きをもらったこの活動を、是非、今後もずっと続いてほしいと思います。

県からのお知らせ

●今年度から「生活支援専門アドバイザー派遣事業」を実施しています！
是非ご活用をお願いします。

●皆様の取り組みを紹介させてください！
県職員が取材に伺いますので下記までご連絡をお願いします。

連絡先：和歌山県長寿社会課　電話：073-441-2521

売店「奥真妻活々倶楽部」が担うたくさんの役割

「奥真妻活々倶楽部」は、真妻地区の特に上洞地区や川又地区のみなさんの買い物ができる売店ですが、今回の取材を通して、単なる売店としての役割以外の側面も見えてきました。

①地域の買い物拠点兼「集まる場」

奥真妻活々倶楽部で販売しているものは、食料品や日用品など、生活をする上で必要になるちょっとしたものです。わざわざ街まで行かなくても買い物ができることで重宝されています。

また、売店には交流広場が併設されていて、誰でも自由に使うことができます。購入したものを食べたり、帰りのバスを待ったりと自由に使えるそうです！

奥真妻活々倶楽部のメンバーが集まって活動する場としても活用されていて、取材日には、手作りの金山寺味噌のラベル作りをされていました。

売店の商品棚の一部

手作りのラベル

誰でも利用できる交流広場

③灯油配達を通した地域の「ニーズ把握」と「お手伝い」

太田さんは商品の仕入れから、タンクローリーでの灯油の配達まで一手に引き受けています！
配達先は高齢者が多いため、そこで色々なお話を聞き、「こんなものが欲しい」といったニーズがあれば、仕入れの際に一緒に買ってきてあげたり、場合によっては売店での定番商品にしたりするそうです。

また、「草刈りをしてほしい」など、ちょっとした困りごとを聞くと、メンバーに伝え、有償ボランティアとして皆でお手伝いに行きます！お手伝いのメンバーは現在６名。うち２名は川又地区を担っています。

太田さんにその原動力を聞くと、地域の方々のために当たり前のことをしているとのことで、そんな太田さんの人柄にみなさんが進んで協力しているように感じました。

タンクローリーと太田さん

②レジ係は地域の「見守り役」

地域の方々のみで売店を運営するにあたって必要になるのが、１日中店番をするレジ係です。
発足当時、小江さんが「地域の皆で交代でレジ係をしよう」と声をかけてまわることで協力者を募り、今では５名の方が協力して交代でレジ係をされています！

売店には定期的に買い物に来られる方がいらっしゃいます。買い物に来られた時はよくお話をしており、「いつも買い物に来られる方が来ないと心配になる」と、地域の方々を気にかけてらっしゃいました。

この日、ちょうど買い物に来られた井口さんも、「ちょっとした買い物ができるので本当に助かる」とおっしゃって、久保さんと談笑しながら買い物をされていました。

小江さん　久保さん

買い物に来られた井口さん

④商品づくりと地域の商品販売による「地域活性化」

奥真妻活々倶楽部では金山寺味噌などを手作りして販売されていました。
なんと売店内には「麹室」や「加工室」、「貯蔵室」があり、皆で手作りしています。「金山寺味噌」や「おばぁちゃんのいなか味噌」、「真妻漬け」などが販売されていました。
また、地域の方々が作っている「菊芋パウダー」等の加工品を販売するなど、地域の活性化にも役立っています！

手作り商品の販売

麹室

貯蔵室